

大嘗祭と 出雲国造の 火継神事

今秋十一月、令和の大嘗祭が予定されています。これは、千三百年以上つづく一代一度の天皇代替わりの重要なお祭りです。一方、出雲でも古くから出雲大社の祭祀者である出雲国造の就任儀礼として火継神事が行われてきました。伊勢・大和と出雲とは、神話と祭祀のなかで深い絆でつながってきました。二つの就任儀礼を比較し、古代の人々の祭祀文化を考えてみたいと思います。

令和元年 9月21日(土)

講師：岡田 莊司 氏
(國學院大学名誉教授)

時間 14:00 ~ 16:00

会場 八雲立つ風土記の丘

参加費 一般 200円 友の会会員 100円 ※申し込み不要。直接会場へお越しください。

講師プロフィール

岡田 莊司 (おかだ しょうじ)

1948年、神奈川県生まれ。1973年、國學院大学大学院文学研究科修士課程終了。

1995年「平安時代の国家と祭祀」で博士(歴史学)。國學院大学名誉教授。

著書に『大嘗の祭り』(学生社1990年)、『大嘗祭と古代の祭祀』(吉川弘文館2019年)など。

1984年「吉田卜部氏の成立」で神道宗教学会賞受賞。



- ・企画展・常設展入館無料
- ・刊行物をお届け
- ・風土記の丘展示図録が100円引き
- ・その他各種イベント情報を随時お届けします。

島根県立八雲立つ風土記の丘

(指定管理者:しまね文化振興財団)

〒690-0033 島根県松江市大庭町456

Tel:0852-23-2485 FAX:0852-23-2429

ホームページ: <https://www.yakumotatu-fudokinooka.jp>

問い合わせ先